

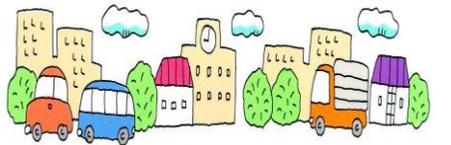
金沢市議会

議員定数40人⇒38人可決

民意を削り

議会のチェック機能を

弱めるもの



金沢市議会の議員定数を40人から38人に削減する条例案が党派政心研・金沢(5人)から提出され、賛成23人、反対16人で可決・成立しました。来春の市議選から適用されることになりました。日本共産党金沢市議員団は、次のような反対討論を行いました。

今回提出された本市議会の議員定数40人を38人に削減する条例案は、内容の上でも十分な根拠を持つものではありません。

市議会が設置した議員定数検討会での意見聴取のお一人である北九州市立法学部の濱本真輔准教授は、人口、面積、財政指標、地域の多様性、政治参加のコストの5つの視点を数値化し、本市議会の定数を推計した場合、全国の市と区でモデル化すると41.18議席。人口20万人以上都市に限定した場合、43.34議席との数値が示されました。この結果、他の議会との関係から考察した場合、本市の議員定数40人は、積極的に削減する状況にはないとの見解を述べられました。わが党は、これ以上議員定数を削減することは、様々な住民の声や要望を届け、二元代表制としての議会のチェック機能を弱めるもので、反対です。

検討会の答申を

ないがしろにするもの



本市議会は副議長を座長とし、各党派からなる10名の委員で構成された議員定数検討会が今年1月に設置され、9回の審議を経て、去る12月5日議長に答申されたものです。その内容は、

金沢市議会の議員定数については、現行の40人を維持すべきとの意見と40人から削減すべきとの意見があり、また、削減数についても意見が分かれ、意見の一致には至らなかった。そして、付帯意見として、今回意見の一致には至らなかったが、次期改選後において、引き続き取り組んでいくことが望まれるとのまとめが行われました。

ところが、突然に今定例月議会に定数削減の条例を提出するというのは、こうした議会としての検討と取り組みをないがしろにするものとも受け取られかねません。

日本共産党 金沢市議員団ニュース
No.300 2014年12月25日
日本共産党金沢市議員団
金沢市広坂1-1-1 金沢市役所内
TEL 076-220-2407 FAX 076-260-6588
ホームページ 金沢市議員団 →検索 →実行
Eメール jcp.kccd@spacelan.ne.jp